

社会医学系専門医協会 ニュースレター2026 年冬号 コンテンツ

- 新年を迎えての理事長からのご挨拶
- 「第 63 回日本医療・病院管理学会学術総会」開催のご報告
- 「第 73 回日本職業・災害医学学会学術大会」開催のご報告
- 「第 84 回日本公衆衛生学会総会」開催のご報告
- 「第 99 回日本産業衛生学会」のご案内
- 「第 110 次日本法医学学会学術全国集会」のご案内
- 社会医学系専門医制度 講習会情報
- 社会医学系専門医各位への調査協力依頼
- 専門医・指導医の活動紹介
- 2026 年 年間スケジュール（案）
- 事務局からのお知らせ
- 編集後記

新年を迎えての理事長からのご挨拶

一般社団法人 社会医学系専門医協会 理事長 今中 雄一



2026 年、感染症危機や災害対応、医療・社会構造の変化を背景に、社会における社会医学へのニーズは着実に高まっています。こうした中、社会医学系専門医に求められる役割は一層重要となっています。若手の皆様（自称若手を含む）は、複雑化する健康課題に専門性をもって向き合い、次代の医療・公衆衛生を担う中核として、大きな期待が寄せられています。また、友好学会から指導医として参画いただく動きも広がり、専門医制度の厚みと発展性はさらに高まりつつあります。本協会は、専門医制度の質保証と実践力の強化を通じて、その価値と社会的信頼を高め、学びと挑戦を後押ししてまいります。ともに専門性を磨き実効力を高め、社会に応える専門医像を築いていきましょう。

第 63 回日本医療・病院管理学会学術総会のご報告

第 63 回日本医療・病院管理学会学術総会長

伏見 清秀

(国立大学法人東京科学大学 医歯学総合研究科 医療政策情報学分野教授)

2025 年 10 月 4 日（土）・5 日（日）に第 63 回日本医療・病院管理学会学術総会を「身近にある医療データを医療・病院管理に活かす」をテーマとして、東京科学大学湯島キャンパス（東京都文京区）で開催いたしました。多くの皆様にお集まりいただき誠にありがとうございました。今回は昨年に引き続き全ての演題を対面での開催としました。講演やシンポジウムといった企画だけでなく一般演題発表でも活発な質疑応答が行われ、以前の学術総会の姿にすっかり戻ったことを喜ばしく思いました。

医療データの利活用の現状と発展性や我が国の医療の喫緊の課題に関する発表が多く、参加者の方々の熱心な議論が多くのお場で盛り上がりました。講演およびシンポジウムの一部につきましては、オンデマンド配信を行い、多くの方にご視聴いただきました。社会医学系専門医制度共通講習、指導医講習合わせて 23 講演を用意できたとともに、多くの有意義な講演、発表があり、非常に充実した学術総会であったと思います。

運営は主要な部分は代行会社に委託したものの、多くの部分はボランティアスタッフの助けを借りた学術総会であったため、行き届かない点もあったかもしれませんが、無事に開催できたことはご参加いただいた皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

第 73 回日本職業・災害医学会学術大会 開催報告

横浜労災病院 病院長 三上容司

2025 年 11 月 2 日（日）、3 日（月）、第 73 回日本職業・災害医学会学術大会を新横浜の新横浜プリンスホテルにて開催いたしました。幸い、2 日間とも好天に恵まれ、839 名という多数の方にご参加いただきました。

学術大会のテーマは、「Well-being を目指す共感と共創の職業・災害医学」としました。勤労者を含むすべての人々が身体的、精神的、社会的に健全であるためにはどうすればよいか、それに対して、職業・災害医学はどのように貢献できるのかという思いから本テーマを定めました。多職種、多領域にわたる本学会の会員が、職業・災害医学について共に感じ、考え、そして創りあげていくことに本学術大会の意義があろうと考えたからです。

基調講演として、武蔵野大学の前野隆司先生に「今なぜウェルビーイングな世界を目指すべきなのか」を、文化講演として武蔵野美術大学の新見隆先生に「美術館へ行こう～アートは日常にある」をご講演いただきました。会長講演は、「臨床倫理が病院にもたらすもの」というタイトルで、患者と職員のウェルビーイングを目指した横浜労災病院での臨床倫理への取り組みや今後への期待についてお話しいたしました。特別講演としては、PMDA の藤原康弘先生に「医療イノベーション推進に向けた PMDA の取り組み」を、産業医科大学上田陽一先生に「働きがいと働く幸せ（Well-being）のサイエンス」をお話いただくのをはじめ、多様な分野のエキスパートから計 7 題の特別講演をいただきました。その他、14 のシンポジウム、7 つのランチンセミナーを開催いたしました。また、例年通り、労働安全衛生研究報告、労災疾病医学研究報告のセッションを設けました。また、社会医学系専門医のための指導医講習会および産業医のための研修会も実施し、参加者が社会医学系専門医協会をはじめとする各種団体、学会の認定単位を取得できるようにいたしました。参加者からは、全般的に職業・災害医学及びそれを超える広い領域の知見に触れることができたと好評でした。

財政的に厳しい中、当院の職員には、受付、進行係などを含め、多大な協力、支援をいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。



第 84 回日本公衆衛生学会総会 開催報告

浜松医科大学健康社会医学講座

尾島 俊之

2025 年 10 月 29 日（水）～31 日（金）（プレ企画：28 日（火））に、静岡市の静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）にて、第 84 回日本公衆衛生学会総会を開催しました。80 年余りの学会の歴史で、初めての静岡県での開催となりました。例年 4,000～4,500 人の参加規模のところ、5,500 人以上の方に参加登録をいただきました。また、静岡県内の行政・大学関係者を始めとして 200 人近いボランティアスタッフに関わっていただきました。

今総会のテーマは、『フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理』としました。フェーズフリーとは、平時の物や仕組みが、危機時にも垣根無く役立つことです。そこで、多くの健康危機管理関係や地域づくり・健康寿命関係のセッションなどを行いました。

今総会での特徴的な企画として、ピアノ演奏などの体験観覧企画、グループワークやラウンドテーブル形式によるセッション、早朝ランニング、バスツアーなど行いました。公募セッション応募いただいた素晴らしい企画をひとつでも多く実施できるように、会期前日にプレ企画として一部のセッションを行いました。会期初日は、朝からシンポジウム等を行ってから開会式。夕方は、会員有志などによるハレルヤコーラス、ワンコインの意見交換会、保健所での新型コロナ対応の映画上映による市民公開講座を行いました。会期後はオンデマンド配信も行っています。

最後に、ご参加いただいた方々、開催にもろもろのお力添えをいただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。



<開催案内>

第 99 回日本産業衛生学会

ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/sanei99/>

会 期 2026 年 5 月 27 日（水）～30 日（土） ※特別研修会（産業医研修会）：5 月 31 日（日）

会 場 大阪国際会議場（〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51）

テーマ すべての働く人への産業保健—実践と学術の協働で挑む—

企画運営委員長 林 朝茂（大阪公立大学大学院医学研究科産業医学）

森口 次郎（森口産業医事務所）

事務局 大阪公立大学大学院医学研究科産業医学

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局

〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜一丁目 1 番 27 号 大阪堂島浜タワー5 階

TEL: 06-4964-8869 E-mail: [sanei99\(at\)jtbcom.co.jp](mailto:sanei99(at)jtbcom.co.jp)

（スパムメール防止のため、(at) を@マークにしてください。）



<開催案内>

第 110 次日本法医学会学術全国集会

ホームページ：<https://www.jslm110.org/>

会期 2026 年 6 月 10 日（水）～12 日（金）

会場 旭川市大雪クリスタルホール（〒070-8003 北海道旭川市神楽 3 条 7 丁目 1-45）

旭川地場産業振興センター（〒070-8004 北海道旭川市神楽 4 条 6 丁目 1-12）

会長 清水 恵子（旭川医科大学医学部医学科法医学講座 教授）

大会事務局 旭川医科大学法医学講座

〒078-8802 北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 - 1

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

コンベンション第二事業局内

〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35 新 KBC ビル 4F

TEL：092-751-3244 FAX：092-751-3250

E-mail：jslm110(at)jtbcom.co.jp

（スパムメール防止のため、(at) を@マークにしてください。）



**第110次日本法医学会
学術全国集会 Asahikawa 2026**

The 110th Congress of Japanese Society of Legal Medicine

会期：2026.6.10（水）～12（金）
会場：旭川市大雪クリスタルホール
旭川地場産業振興センター

温故知新
～過去に学び、未来を拓く～

会長：清水 恵子
副会長：浅利 優
事務局長：奥田 勝博
(旭川医科大学法医学講座)

URL: <https://www.jslm110.org>

運営事務局：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局内
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル4F
TEL: 092-751-3244 FAX: 092-751-3250 E-mail: jslm110@jtbcom.co.jp

<社会医学系専門医制度 講習会情報>

社会医学系専門医に関する説明会や講習会の予定をご案内いたします。お申し込み等の詳細につきましては、下記ホームページをご参照ください。

一般社団法人 社会医学系専門医協会 HP <http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/>

開催予定の講習会

(スパムメール防止のため、(at) を@マークにしてください。)

【2026 年 3 月】

学 会 名	全国保健所長会
タ イ ト ル	令和 7 年度愛知県保健所長会社会医学系専門医指導医講習会
日 時	2026 年 3 月 6 日 (金) 14:05～15:05
場 所	愛知県自治研修所
問合せ先	konan-hc(at)pref.aichi.lg.jp
単 位 数	指導医講習 1 単位

【2026 年 1 月】

学 会	第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会
タ イ ト ル	Infection and Cancer: Risks, Mechanisms, and Prevention
日 時	2026 年 1 月 30 日 (金) 8:30～10:00
場 所	出島メッセ長崎
問合せ先	jea2026(at)c-linkage.co.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1.5 単位



学 会	第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会
タ イ ト ル	Digital Technology and Artificial Intelligence (AI) in Epidemiological Research and Prevention: Innovations, Impacts, and Equity
日 時	2026 年 1 月 30 日 (金) 10:10～11:40
場 所	出島メッセ長崎
問合せ先	jea2026(at)c-linkage.co.jp
単 位 数	共通講習【医療倫理（臨床倫理、研究倫理、生命倫理）、医療経済】K-1.5 単位

学 会 名	第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会
タ イ ト ル	Expanding the possibilities of epidemiology from remote islands
日 時	2026 年 1 月 30 日 (金) 13:00～14:00
場 所	出島メッセ長崎
問合せ先	jea2026(at)c-linkage.co.jp
単 位 数	共通講習【地域医療】K-1.5 単位

学 会 名	日本疫学会
タ イ ト ル	第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会 社会医学系専門医制度指導医講習会
日 時	2026 年 1 月 30 日 (金) 11:50～12:50
場 所	出島メッセ長崎一階 Room105
問合せ先	jea2026(at)c-linkage.co.jp
単 位 数	指導医講習 1 単位



学 会 名	令和 7 年度全国保健所長会研修会
タ イ ト ル	日本における医療安全施策の動向
日 時	2026 年 1 月 30 日（金）11:00～12:00
場 所	四谷区民ホール
問合せ先	shochokai(at)jpha.or.jp
単 位 数	共通講習【医療安全】K-1 単位

学 会 名	令和 7 年度全国保健所長会研修会
タ イ ト ル	入国前結核スクリーニング導入について
日 時	2026 年 1 月 30 日（金）13:00～13:30
場 所	四谷区民ホール
問合せ先	shochokai(at)jpha.or.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-0.5 単位

学 会 名	第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会
タ イ ト ル	Pandemic preparedness and response from the perspective of epidemiology
日 時	2026 年 1 月 29 日（木）15:20～16:50
場 所	出島メッセ長崎
問合せ先	jea2026(at)c-linkage.co.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1.5 単位

学 会 名	第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会
タ イ ト ル	Epidemiological Preparedness for the next Pandemic (仮題)
日 時	2026 年 1 月 29 日 (木) 14:10～15:10
場 所	出島メッセ長崎
問合せ先	jea2026(at)c-linkage.co.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1 単位

学 会 名	全国衛生部長会
タ イ ト ル	社会医学系専門医協会共通 (必須) 講習会【医療倫理】～臨床研究を巡る規制動向 (倫理を含む) と医療機関の対応～
日 時	2026 年 1 月 28 日 (水) 15:30～16:30
場 所	Zoom ミーティング
問合せ先	buchokai(at)jpha.or.jp
単 位 数	共通講習【医療倫理 (臨床倫理、研究倫理、生命倫理)】K-1 単位

<社会医学系専門医各位への調査協力依頼>

■ 調査概要方法：Microsoft Forms による Web アンケート

対象：社会医学系専門医・指導医・専攻医の方および更新を終了した方

所要時間：約 10 分 匿名性：回答は無記名で収集され、個人が特定されることはありません

参加の自由：研究参加は任意であり、回答いただかなくても不利益は一切ございません

アンケート調査の目的について

今回のアンケート調査では、先生方の属性および学会諸活動、専門医および指導医の資格更新等について御伺い致します。本調査に同意された場合は、社会医学系専門医協会を通じて集計され、分析を行います。分析結果は、社会医学系専門医協会のホームページ、報告書、あるいは、学会、学術誌等を通じて公表していく予定です。回答項目数は 35 項目です。同意されない先生方のデータは、上記の分析には使用しません。本調査においては、資格を辞退後およそ 2 年以内の方々にもご案内をお送り申し上げておりますのでその旨ご了承ください (当協会プライバシーポリシー第 7 条ご参照)。協会データから 削除をご希望の方は、お手数ですが、別途協会事務局までご連絡ください。

<当協会プライバシーポリシー第 7 条抜粋>

7. 個人情報の保管期間当協会が収集した会員の個人情報は社会医学系専門医・指導医の登録・更新から次の更新日の翌年度末まで保管するものとする。社会医学系専門医・指導医の更新をせず非会員となった者であって速やかな削除を希望する者の個人情報は、本人による削除依頼により上記期間を待たず削除するものとする。削除希望ある者は当協会事務局へ連絡するものとする。

[アンケート回答はこちら] <https://forms.office.com/r/ChXrvLp5qZ>

回答締切：2026 年 3 月 3 日（期間延長しました）

何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■ 問い合わせ先 研究責任者：順天堂大学医学部 公衆衛生学講座 教授 和田 裕雄

Mail：bcpphsm(at)gmail.com 電話：03-3813-3111（内線 3535）

（スパムメール防止のため、(at) を@マークにしてください。）

<専門医・指導医の活動紹介>

社会医学系専門医の実践紹介

ー 現場からの声 ー

社会医学系専門医は、医療機関、保健所、行政機関、企業、大学など、多様な現場で活躍しています。本号では、その一端をご紹介します。

● 保健所における健康危機管理の実践

ある専門医は、自治体の健康危機管理担当として、新興感染症対応の体制整備に取り組んでいます。地域の医療機関や行政部局と連携し、平時からの情報共有体制の構築や訓練の企画運営を担っています。

● 企業における産業保健の推進

産業医として活動する専門医は、従業員の健康管理だけでなく、メンタルヘルス対策や働き方改革の推進にも関わり、組織全体のウェルビーイング向上に寄与しています。

● 大学・研究機関での社会医学研究

疫学・公衆衛生学の研究者として、地域の健康課題を可視化し、政策提言につなげる取り組みを行う専門医もいます。研究成果は行政施策や地域づくりに活かされています。

今後も、社会医学系専門医の多様な活動を紹介していく予定です。

<2026 年 年間スケジュール (案) >

2026 年 協会関連スケジュール (予定)

- 1 月 研修プログラム統括責任者連絡会議 (その 1)
- 1 月 専門医・指導医認定委員会
- 2 月 研修プログラム統括責任者連絡会議 (その 2)
- 4 月 第 8 回専門医認定試験実施要項の公表
- 4 月～5 月 名誉社会医学系専門医・指導医の推薦の受付
- 4 月～11 月 特例措置社会医学系専門医・指導医の募集
- 7 月 専門医・指導医更新案内の発送
- 9 月 第 8 回専門医認定試験
- 10 月 更新申請受付開始
- 11 月 更新申請締切

※詳細は決定次第、協会 HP にてご案内いたします。

<社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ>

【専門医・指導医更新のご提出いただきありがとうございました】

2025 年 11 月 30 日をもって、本年度の更新申請の受付を終了いたしました。

本年度更新申請対象者で更新申請をいただいていない場合、

当会 HP にて更新延長届をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/>

【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、会員マイページよりご変更ください。

下記 URL 上部 「会員マイページログイン」 のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

会員専用ページへのログインにはログイン ID (会員番号) /パスワードが必要となります。

パスワードがご不明な場合は、「パスワード問い合わせ」からお問合せください。

ログイン ID（会員番号）は、年間登録料の請求書摘要欄に記載がございます。

上記ご不明な場合は、下記の要領にて協会事務局（jbphsm@asas-mail.jp）までご連絡ください。

件名：社会医学系専門医協会：ログイン ID 照会（会員ページログインのため）

①氏名

②ご所属先

③生年月日（19XX/●●/△△）

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送いたします。

【記載事項】

- ・ 会員様のお名前
- ・ 会員番号
- ・ お支払いいただいた金額
- ・ 何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : jbphsm(at)asas-mail.jp

（スパムメール防止のため、(at) を@マークにしてください。）

FAX : 03-5981-6012

<編集後記>

社会医学は、現場から一歩引いて社会全体を見渡す学問ですが、その視線が現場から離れてしまっ
ては意味を持ちません。制度やデータの背後には、常に人々の生活があり、選択があり、痛みがありま
す。社会医学に共通する姿勢があるとすれば、世の中の需要の変化に敏感であり続け、それに応じて
自らの立ち位置や方法を見直していくことだと思います。正しさを一つに定めるのではなく、揺らぎ
の中で考え続ける姿勢そのものが、専門性なのではないでしょうか。答えが容易に見つからない時
代だからこそ、社会医学に期待される役割は広がっています。このニュースレターが、世代や立場を
越えて考えを共有する小さな場となれば幸いです（業務執行理事 吉村健佑）。